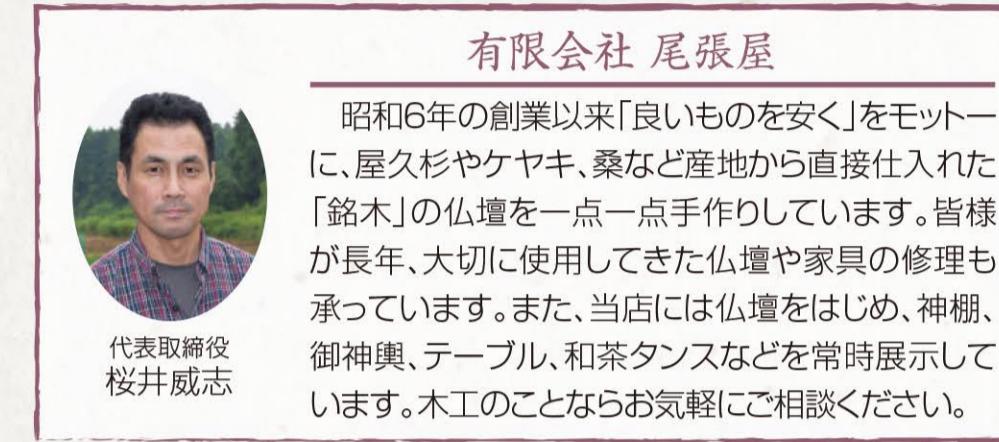
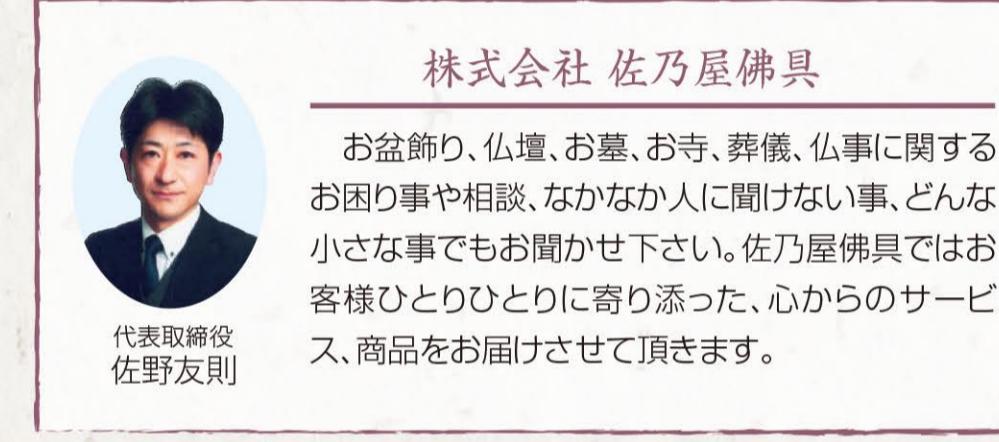


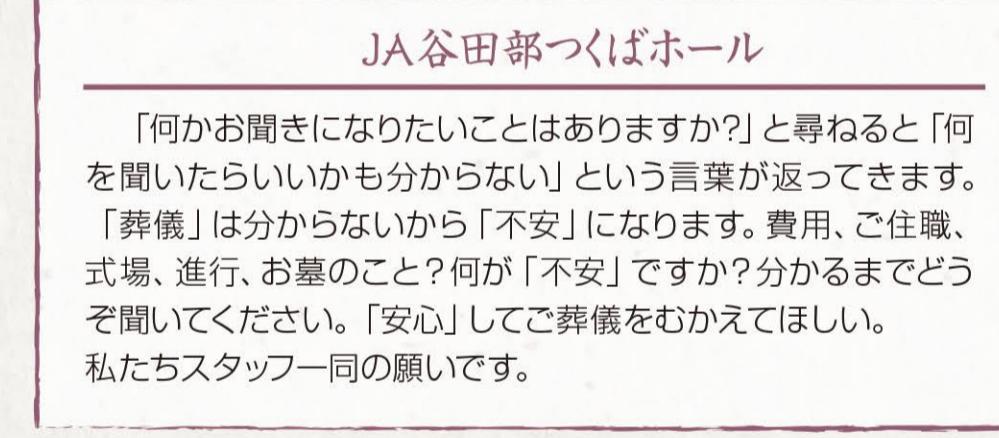
時代の変化と共に、葬儀や祈りの形は大きく変化しています。しかし、そのような中であっても、大切な人への弔いの「心」・祈りを捧げる「心」に変化はありません。私たち鈴文は、そのような「心」を表すに相応しい葬儀サービスや商品の提供により、お客様の「心」とともに、葬送文化・祈りの文化を継承するお手伝いを致します。



昭和6年の創業以来「良いものを安く」をモットーに、屋久杉やケヤキ、桑など産地から直接仕入れた「銘木」の仏壇を一点一点手作りしています。皆様が長年、大切に使用してきた仏壇や家具の修理も承っています。また、当店には仏壇をはじめ、神棚、御神輿、テーブル、和茶タンスなどを常時展示しています。木工のことならお気軽にご相談ください。



お盆飾り、仏壇、お墓、お寺、葬儀、仏事に関するお困り事や相談、なかなか人に聞けない事、どんな小さな事でもお聞かせ下さい。佐乃屋佛具ではお客様ひとりひとりに寄り添った、心からのサービス、商品をお届けさせて頂きます。



きになりたいことはありますか?」と尋ねると「何いかも分からない」という言葉が返ってきます。知らないから「不安」になります。費用、ご住職、お墓のこと?何が「不安」ですか?分かるまでどうさい。「安心」してご葬儀をむかえてほしい。一同の願いです。



シニアふるさと通信

2018年(平成30年)7-8月号 | 6



全ての仏様のために
心を込めて供養する

お盆は、一般的にご先祖様や故人の靈をお迎えし、報恩の供養をする行事をいいます。ご先祖様を偲ぶこの機会に、真言宗智山派「阿弥陀院」の河村照円住職に心穏やかに生きるためのお話を伺いました。

命のつながり



真言宗智山派 阿弥陀院
石岡市半田1117 ☎0299・42・2131

「道」という六つの世界を指します。生前の行いによって、六つの世界で生と死を何度も繰り返すという考え方です。餓鬼道は地獄道の次に苦しい世界となります。

話があります。ある日、お釈迦様のお弟子さんが、自分の母親が餓鬼道に落ちて苦しんでいる姿を見て、どうしたら救えるのか、お釈迦様に相談したところ「お経を唱えて、食べ物をお供えし、供養しなさい」とお釈迦様は教え導きました。その儀式を実践し、供養したこと、母親を救うことができたそうです。

飢えや欲望から逃れるためには、自分のことばかり考えるのではなく、誰かを施すことでも救われるという、そういう教えが込められていると思います。

故人の生前の功績や人柄を知る機会に

お通夜とは何をするための儀式かご存知ですか。諸説あります BUT、「明日の朝、目を覚ましてほしい」と、もう一度よみ

水・火・風・空」という広い大宇宙を表現した梵字や戒名が書かれてています。宗派によつてさまざまですが、一般的に亡くなつた人に与えられる名前のことを戒名と言い、仏門に入つた証とされています。例に挙げて説明をしましよう。

がえることを願い、夜通しお祈りをしたり、悪霊が来ないよう横で見張つたりするためと言われています。今は遺族や親類、縁者が集まって、故人との最後の夜を過ごすことをいいます。思い出などを振り返り、感謝の気持ちを伝えることがお通夜の時間になるのです。

お墓の脇や後ろに建てられる塔婆は、五重塔に見立てて塔を

